

第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会プログラム

ポスター発表日時:2019年12月6日(金)10:30-12:00

(奇数番号)10:30-11:15

(偶数番号)11:15-12:00

会場:東北大学青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ

ポスター発表一覧

- P-01 イメージングプレートを用いたきこの中の放射性セシウム分布測定とその定量解析に関する検討
(近畿大・理¹, 近大原研², 農研機構³, 国衛研⁴)○友岡弓乃¹, 山田崇裕², 稲垣昌代²,
山西弘城², 八戸真弓³, 蜂須賀暁子⁴, 曾我慶介⁴
- P-02 岡山県人形峠における空気中²²²Rn、²¹⁰Pb、⁷Be濃度の変動
(原子力機構)○迫田晃弘、田中 裕史、神崎訓枝
- P-03 Tritium カラムの性能評価
(原子力機構)○山田椋平、松尾一樹、永岡美佳、中野政尚
- P-04 福島土壤中のCs-137、K-40、Sr-90の相関関係
(広島大・院・理¹, 広島大・N-BARD²)○Wiseman Bekelesi¹, Triyono Basuki¹, 中島覚²
- P-05 ダストモニタにおける α β 同時計数機能を用いた推定人工放射能濃度の算出法について
(日本原燃・環境管理セ)○外川洋一、山口葉奈、舘憲治、佐々木耕一
- P-06 モンゴル国ドルノゴビ県のウラン鉱床分布域における大地放射線調査
(福島医大¹, モンゴル原子力委², ドルノゴビ県水・気象・環境監視局³, モンゴル公衆衛生セ⁴)
○大森康孝¹, 反町篤行¹, Manlaijav Gun-Aajav², Nyamdavaa Enkhgerel²,
Ganbat Munkherdene², Galnemekh Oyunbolor², Amarbileg Shajbalidi³, Enkhtuya Palam⁴,
山田智恵里¹
- P-07 ゲルマニウム検出器を用いる微量試料定量のためのモンテカルロ・シミュレーションによる効率決定
(セイコー・EG&G¹, 東北大²)○板津英輔¹, 阿部敬朗¹, 吉田浩子²
- P-08 Cosmogenic Be-7 and terrestrial K-40 radionuclides in surface air at Osaka, Japan
(Osaka Sangyo Univ.)○NOITHONG Pannipa
- P-09 Tritium Concentrations in Precipitation and Tap Water Collected at Osaka, Japan.
(Osaka Sangyo Univ.)○Rittirong Anawat
- P-10 佐渡島における空間線量率と天然放射性核種濃度の調査

- (健科大・診放¹, 獨協医・放², 佐藤 HP・放³, 埼・小児医セ・放⁴)
○杉野雅人¹、近藤綾香²、竹村友里³、桂田夏帆⁴
- P-11 Measurements Be-7 and Pb-210 in the atmosphere: case of Hirosaki city.
(弘前大)○Oumar Bobbo Modibo, Eka Djatnika Nugraha, Yuki Tamakuma,
Naofumi Akata, Hirofumi Tazoe, Masahiro Hosoda, Shinji Tokonami
- P-12 Advances in Radioanalytical Techniques for Trace Radionuclides in CIRP
(東大)○Yadong Wang, Yonggang Yang, Lijuan Song, Lina Ma, Maoyi Luo,
Shan Xing, Xiongxin Dai, Takeshi Iimoto
- P-13 福島県における農業用ため池底における放射線分布の位置的及び時間的变化の特徴
(東大)○Estiner W. KATENGEZA, Kotaro OCHI, Yukihisa SANADA,
Takeshi IIMOTO、
- P-14 ミネラルウォーター中に含まれる放射性核種濃度と経口摂取にともなう線量評価
(弘前大¹, EPA², 量研機構³)○細田正洋¹、Aoife Kinahan²、Kevin Kelleher²、辻口貴清¹、
岩岡和輝³、床次眞司¹、Lorraine Currivan²
- P-15 宮城県における環境放射線モニタリング
(宮城県環境放射線監視セ)○木村幸由、木村昭裕、石幡茜、伊藤節男、石川陽一、
高橋正人、安藤孝志
- P-16 Progress of radon research in the South and East Asian countries
(量研機構¹, BfS²)○Miroslaw Janik¹、Peter Bossew²
- P-17 拡散型ラドン・トロン測定器に使用される子孫核種除去フィルタのトロン浸透特性
(福島医大¹, 弘前大・被ばく医研², 弘前大・保³)○大森康孝¹、玉熊佑紀²、
鈴木崇仁³、Eka Djatnika Nugraha³、Miki Arian Saputra³、細田正洋³、床次眞司²
- P-18 Characterization of Indoor Radon/Thoron for Common Houses in Bangladesh
(Univ. of Tokyo¹, QST², Fukushima Medical Univ.³)
○MD MAHAMUDUL HASAN¹、Miroslaw Janik²、Atsuyuki Sorimachi³、Takeshi Iimoto¹
- P-19 ラドンモニタ校正のためのガス循環システムの整備
(産総研¹, 量研機構²)○古川理央¹、柚木彰¹、Miroslaw Janik²、栗原治²
- P-20 Measurement of attached radon and thoron progeny size distributions in Mamuju、Indonesia
using passive detectors
(Hirosaki Univ.)○Chutima Kranrod, M.A. Saputra, E.D. Nugraha, Y. Tamakuma,
N. Akata, M. Hosoda, S. Tokonami
- P-21 パッシブ式静電捕集型ラドンモニタに対するトロンの感度評価
(弘前大)○根上颯珠、玉熊佑紀、細田正洋、床次眞司

- P-22 Influential factor for radon/thoron measurements to inhalation dose
(Hirosaki Univ.¹, QST²) ○Jun Hu¹, K. Iwaoka², M. Hosoda¹, S. Tokonami¹
- P-23 国内のラドン曝露施設を活用した校正実験
(量研機構¹, 弘前大²) ○岩岡和輝¹, 玉熊佑紀², フー クン², ミロソラフ ヤニック¹,
細田正洋², 赤田尚史², 床次眞司², 神田玲子¹
- P-24 in-situ 測定法へのアンフォールディング法の適用性検討
(三菱電機) ○東哲史, 笹野理, 林真照, 田中隆己, 西沢博志, 中西正一
- P-25 モニタリングポストの現地校正技術の開発
(産総研) ○黒澤忠弘, 加藤昌弘, 石井隼也
- P-26 AI 技術活用による In-situ 多チャンネル放射能濃度深度分布スペクトロメリーの放射能濃度
弁別処理技術開発の進展
(徳島大・院・医歯薬¹, 香川大², 首都大³, アドフューテック⁴, 徳大・院・保健⁵)
○阪間稔¹, 藤本憲市², 井上一雅³, 福土政広³, 今城裕介⁴, 福原隆宏⁴,
遠藤倫崇⁴, 川口(松本)絵里佳⁵, 濱邊大⁵, 神谷慶和⁵, 森本真壽⁵
- P-27 液体シンチレーションライトガイド検出器の開発(第3報)
(首都大¹, 医科歯科大², 明治大³, 九大⁴) ○野村貴美¹, 原正幸², 小池裕也³, 藤淵俊王⁴
- P-28 加速器型中性子発生施設における放射化物の評価
(阪大・工) ○東海正暉, Fajar Panuntun, 日下祐江, 玉置真悟, 真鍋勇一郎, 秋山庸子,
佐藤文信, 村田勲
- P-29 ZnS(Ag)シンチレータを用いたラドン子孫核種影響低減型ダストモニタ検出器の開発
(原子力機構) ○奥山駿, 佐々木一樹, 佐川直貴, 細見健二, 高田千恵
- P-30 簡易土壌放射能測定器の開発
(産総研¹, KEK²) ○黒澤忠弘¹, 内藤航¹, 上坂元紀¹, 岩瀬広²
- P-31 警報付き電子線量計による事業所内外の放射線量測定(その4)
(東京医大) ○久嶋道広
- P-32 診断用 X 線装置の線質における 3mm 線量当量測定用サーベイメータの特性
(産総研) ○加藤昌弘, 石井隼也, 田中隆宏, 黒澤忠弘
- P-33 線量評価用成人日本人ポリゴンファントムの構築
(原子力機構) ○佐藤薫, 古田琢哉, 高橋史明
- P-34 照射録を用いた線量記録と撮影条件検証機会の検討
(名古屋第二赤十字病院) ○有賀英司, 才賀治, 猪岡由行, 西條貴哉, 大島隆嗣
- P-35 水晶体被ばく線量計測を目的としたメガネ型ウェアラブル線量計デバイスの試作
(群大・理工) ○赤上友基, 加田渉, 飯塚和也, 長谷川大地, 花泉修, 三浦健太

- P-36 放射線挙動解析コード PHITS のデータを用いた DVH の作成及び子宮頸がんに対する線量評価
(徳島大・院・保)○濱邊大、阪間稔、川口絵里佳、森本真壽、神谷慶和
- P-37 防護パウダーの減弱特性
(帝京大)○角山奎介、大野隼生
- P-38 DNA 損傷解析による被ばく線量評価法の開発と実用化への検討
(福井大・工¹, 福井大・原研², 阪大 RIRC³)○松尾陽一郎¹、泉佳伸^{1,2}、清水 喜久雄^{2,3}
- P-39 患者の体格による CTDIvol の変化
(帝京大)○北山和輝、大谷浩樹、大野浩二郎、菊地隆輝、山本純也
- P-40 ICRP2007 年勧告に準拠する内部被ばく線量評価コードの開発
(原子力機構)○高橋史明、真辺健太郎、佐藤薫
- P-41 生活経路に沿った空間線量率測定に基づく被ばく評価
(日立ソリューションズ東日本¹, 原子力機構²)○佐藤哲朗¹、安藤真樹²、斎藤公明²
- P-42 デジタルマンモグラフィの表示線量の検証
(茨城医療大¹, 茨城医療大・放²)○中島絵梨華¹、佐藤斉²
- P-43 小児頭部 CT 撮影画質と線量の関係～CT-AEC の有無による違い～
(大分県放射線技師会)○桑原宏、吉武貴康
- P-44 乳がん放射線療法に伴う放射線皮膚障害に関する文献レビュー
(大分看科大・院¹, 大分看科大²)○岩下恵子¹、甲斐倫明²
- P-45 患者心理状態と接遇
(帝京大)○丸山大成、内藤優斗、野原優来、八尋美鈴、大谷浩樹
- P-46 低線量放射線照射時における DNA 切断量と修復量の見積り
(医科歯科大・リサーチコアセンター¹, 首都大・RIC², 医科歯科大・RCC³)○能登昭雄¹、
野村貴美²、原正幸³
- P-47 デトリメント算出値に影響を与える要因の感度解析 ～致死率の影響～
(電中研)○藤通有希、佐々木道也、服部隆利
- P-48 Po-210 微小線源を用いた局所照射系の評価
(京大・環境安全保健機構・放総セ)
○角山雄一、堀江正信、五十棲泰人、戸崎充男
- P-49 遺伝的影響線量率応答モデルシミュレータ WAMSIM
(京大・環境安全保健機構・放総セ)○角山雄一
- P-50 日本人集団の死亡率データを用いた年齢依存がんリスクの再計算
(電中研)○佐々木道也、服部隆利
- P-51 X線マイクロビームを用いた不均一な放射線照射が細胞集団全体に及ぼす影響

- 内部被ばくによる生物影響を考えるための基礎研究—
(大分看科大¹, 東海大², 長崎大³, 高エネ研⁴)○小嶋光明¹, 伊藤敦²
鈴木啓司³, 大原麻希⁴, 宇佐美徳子⁴
- P-52 マンモグラフィにおける患者の心理状況
(帝京大¹, 首都大²)○佐野茜¹, 三崎史歩¹, 中川原佳恵¹, 大谷浩樹¹, 根岸徹²
- P-53 放射能の不安解消へ向けたナッジ理論を用いた行動放射能心理
(帝京大)○大谷浩樹, 三崎史歩, 佐野茜, 中川原佳恵, 丸山大成, 内藤優斗, 野原優来,
八尋美鈴
- P-54 放射性物質で汚染した物品の再生利用に関する放射線防護上の考え方
(東大・院・創域¹, 原子力機構²)○三輪一爾^{1,2}, 飯本武志¹
- P-55 KEK 陽子加速器トンネルにおけるコンクリート壁・床の放射化(その2)
(高エネ研・放射線科学センター¹, 高エネ研・RAD²)
○飯島和彦¹, 三浦太一²
- P-56 小学校児童への放射線教育用インタラクティブ教材の試作
(東北大・災害科学国際研¹, 東北大・院・医², (公財)宮城県対がん協会³, 福島県立医科大⁴)
○太田洋一^{1,2,3}, 太田裕子^{1,2}, 緑川 早苗⁴, 大津留 晶⁴, 千田 浩一^{1,2}
- P-57 九州大学における放射線教育実施前の受講生に対するアンケート調査の解析
(九大・アイトープセ¹, 九大・芸工², 九大・院医・基礎医学³, 琉大・情報工学⁴, 産業医大・放射線⁵, 九大・院医・保健⁶, 九大・九大病院⁷, 琉大名誉⁸, 九大名誉⁹)○中島裕美子¹, 鷹野典子²,
大野みずき³, 安富祖仁⁴, 佐藤直紀⁵, 平田悠真⁶, 藤淵俊王⁶, 玉城史朗⁴, 野邊由紀子⁷, 山里
眞⁸, 續輝久⁹
- P-58 雑草を利用した土壤中放射能の可視化
(鳥取大・研推機)○北実
- P-59 J-PARCユーザーに対する英語による放射線教育ビデオ
(原子力機構・J-PARCセ¹, 原子力機構², 高エネ研³)○加藤小織¹, 春日井好己²,
西藤文博², 増川史洋², 沼尻正晴³, 中村一³, 山崎寛仁³, 斎藤究³, 藤原一哉³
- P-60 教育用慣性静電閉込核融合(IECF)装置の試作
(岡山大・自生セ・光・放射線情報解析部門鹿田施設¹, 岡山大・自生セ², 岡大・NTRC³)
○永松知洋¹, 花房直志^{2,3}, 寺東宏明²
- P-61 Basic Knowledge of Radiation and Radioisotopes 第5版の刊行と無償公開
(東大・RIC¹, 名大², 北大³, 長崎大⁴, 日本アイトープ協会⁵)
○桧垣正吾¹, 柴田理尋², 平田雄一³, 松田尚樹⁴, 日本アイトープ協会⁵
- P-62 市販試薬を用いた能動的学修による放射線・放射能教育の提案

- (兵医療大)○藤野秀樹
- P-63 ライフサイエンス分野のための RI 実験ガイドの作成～はじめて RI を利用する方へ～
(日本アイソトープ協会)○東梨佳子、津國浩之、三井美鈴、嘉村奈美、松波圭一、原正幸、
加藤真介、飯塚裕幸
- P-64 観察面積を拡大した新型ペルチェ霧箱の開発
(大阪府大・放研セ)○秋吉優史
- P-65 原子力災害拠点病院及び原子力災害医療協力機関における被ばく医療支援体制の調査
(弘前大・院・保)○坂本瑞生、辻口貴清、鈴木陽子、柏倉幾郎
- P-66 被ばく医療時における術者の二次被ばく線量算出コードの開発
(弘前大・院・保)○鈴木陽子、辻口貴清、鳴海和樹、坂本瑞生、床次眞司、柏倉幾郎
- P-67 原子力災害時の避難退域時検査を支援する自治体職員の認識および教育ニーズ調査
(弘前大・院・保・放技科領¹、広島大²)○辻口貴清¹、小倉巧也¹、坂本瑞生¹、
小岩知樹¹、鈴木陽子¹、保田浩志²、山口平¹、床次眞司¹、柏倉幾郎¹
- P-68 福島県内の診療放射線技師を対象とした原子力災害対応に関する意識調査
(公立岩瀬病院企業団¹、福島医大・医²、田村市立都路診療所³)
○真船浩一¹、大葉隆²、菅野修一³、緑川早苗²、大津留晶²
- P-69 STACY 改造工事における放射線管理
(原子力機構)○中畠純也、山田克典、長谷川里絵、梅田昌幸、関真和、武藤康志、
澤島勝紀
- P-70 ホールボディカウンタ(WBC)の精度管理に関する実態調査
(田村市立都路診療所¹、福島医大・医²、岩瀬病院³)○菅野修一¹、大葉隆²、真船浩一³、
長谷川有史²
- P-71 高密度セラミックスを用いた放射線治療施設の施工経験
(大船中央病院・放治セ¹、三石耐火煉瓦(株)²)○奥洋平¹、森宏行²
- P-72 遮蔽計算の見直しによる効率的な変更承認申請書の作成
(北大アイソトープ総合セ)○阿保憲史、吉井勇治、東川桂、平田雄一、久下裕司
- P-73 サイクロトロン施設における標識合成設備と排気放射能濃度の関係性
(徳島大・放セ¹、住重・加²、徳大病・放³)○大谷環樹¹、三好弘一¹、草壁翔太²、國金大和³
- P-74 赤褐色バイオマットによる放射性核種の吸着
(広大・自然セ・RI)○松嶋亮人、稲田晋宣、木庭亮二、寺元浩昭、宗岡亜衣、中島覚
- P-75 九州大学工学部放射線使用施設の廃止措置における排気設備の撤去(I)
(九大・工¹、(株)アトックス²)○川畑義矢¹、竹石敏治¹、堀江直之²
- P-76 シンチレーションペーパーのふき取り効率

- (徳島大・放セ¹, 阿波製紙(株)², 徳島大病・放³)○三好弘一¹, 湯本明², 中村真美¹, 伊月義則², 吉岡歩美², 大谷環樹¹
- P-77 九州大学工学部放射線使用施設の廃止措置における排気設備の撤去(Ⅱ)排気用縦ダクトの撤去作業
(九大・工¹, (株)アトックス²)○竹石敏治¹, 川畑義矢¹, 堀江直之²
- P-78 真鍮の棒を利用した空気中トリチウムの簡便な採取法に関する研究
(富山大・水素研¹, ㈱千代田テクノ²)○中山将人¹, 原正憲¹, 小林文彦², 大山沙知子², 太田昌志², 阪上隆晴², 中川博雄²
- P-79 5 keV 以上 10 keV 未満の엑クス線を発生しうる機器の放射線安全規制の課題
(国立保健医療科学院¹, 東京医保大², 産医大³)○山口一郎¹, 小野孝二², 櫻田尚樹³
- P-80 日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所における女性の放射線業務従事者の線量限度に対する意識調査結果
(原子力機構)○滝本美咲, 山崎巧, 伊東康久, 高田千恵
- P-81 ²²Na を用いた密封線源型 PET 用ファントムの試作と有用性の検討
(長崎大・原研)○西弘大, 工藤崇
- P-82 手術手技の教育・研究用엑クス線透視装置の設置と運用
(山口大・RI 実験施設)○坂口修一
- P-83 実態に合う外部被ばく線量の評価手法確立に資する線量の実態調査と評価手法の比較検討
(産総研)○内藤航, 上坂元紀, 黒澤忠弘
- P-84 ASURA を用いた福島第一原発事故被災地での自動車走行サーベイ結果の紹介
(新潟大・研究推進機構¹, 新潟大・工², 新潟大・医³, 新潟医療福祉大⁴)○後藤淳¹, 高橋剛², 近藤達也³, 大野健⁴, 吉田秀義⁴
- P-85 福島第一原子力発電所事故後の空間線量率の減少要因(Attenuation factor, Location factor)の評価
(原子力機構・福環安セ)○吉村和也
- P-86 福島県飯舘村における家屋周りの空間線量率分布の特徴について
(原子力機構¹, 東北大学²)○金敏植¹, Alex Malins¹, 町田昌彦¹, 吉村和也¹, 吉田浩子², 斎藤公明¹
- P-87 陽イオン界面活性剤を用いた放射性セシウムの粘土からの脱着
(広大・院・理¹, 広大・N-BARD²)○Herry Wijayanto¹, Triyono Basuki¹, 中島 覚²
- P-88 福島市飯坂町における土壌中の放射性セシウムの経年変化
(長崎大・原研¹, 長崎大・先導²)○福田直子¹, 三浦美和¹, 高尾秀明², 工藤崇¹, 松田尚樹¹
- P-89 イネおよび田水中の微量元素の PIXE 分析(VI)

- (静岡大・理¹、静大・院・総合科学技術²、徳島大・ARREMC³、東大・RIC⁴、イング⁵、岩手医大・サイクロ⁶)○矢永誠人¹、出沢良樹²、三好弘一³、桧垣正吾⁴、森一幸⁵、世良耕一郎⁶
- P-90 福島第一原子力発電所事故に関連した都内の環境放射線量の推移
(首都大・健康福祉学部・放¹、つくば国際大・医療保健・診放²、首都大・院³)○塚田瑞穂¹、井上一雅¹、霍岡大²、清水秀雄²、Nimelan Veerasamy³、市原舞衣¹、市村賢³、渡辺光¹、嘉藤達樹¹、鳥井みのり¹、溝口愛美¹、横地悠紀¹、加藤碧¹、福土政広¹
- P-91 福島県で採取した野生きのこに含まれる放射性セシウム濃度の経年変化(Ⅱ)
(近畿大・原研¹、近畿大・農²)○稲垣昌代¹、山西弘城¹、山田崇裕¹、若林源一郎¹、芳原新也¹、種坂英次²、白坂憲章²、福田泰久²
- P-92 千葉県東葛地区における空間線量率の変化
(首都大・健康福祉・放¹、首都大・院²)○市原舞衣¹、井上一雅¹、藤澤真²、市村賢²、塚田瑞穂¹、渡辺光¹、嘉藤達樹¹、鳥井みのり¹、加藤碧¹、溝口愛美¹、横地悠紀¹、福土政広¹
- P-93 徳島大学における放射線業務従事者管理システムの開発(その3)
(徳島大・放セ¹、徳島大 ARREMC²)○桑原義典¹、三好弘一²、合田康代²
- P-94 福島事故由来の放射性粒子の元素分析
(筑波大アイソトープ環境動態研究センター¹、筑波大・院・数理²、気象研³、原子力機構 CLADS⁴)○末木啓介¹、長谷川涼²、松尾一樹²、石井達也²、足立光司³、佐藤志彦⁴
- P-95 学内の放射線安全管理体制についての考察
(徳島大・放セ)○三好弘一、大谷環樹、桑原義典、堀川秀昌、合田康代、安井栄梨